

3 懇談会(7/26)の開催概要

第10回釧路湿原自然再生協議会（H18.5.9）で発案された「懇談会」が平成18年7月26日（水）に釧路地方合同庁舎共用第1会議室で開催され、地域住民や協議会構成員など多数の方が出席された。

会の冒頭で、懇談会の発案者である辻井会長からご挨拶があり、その際、円滑な進行を行うための座長として釧路ウェットランドセンターの新庄久志さんが推薦された。

その後は、新庄さんの進行により会が進み、

- ・ まずは湿原の現状について情報交換して、分かっていることと分かっていないことについて議論すべき。
- ・ 湿原の変化についてはある程度把握されているが、ベースとなる状態が曖昧なのではないか。情報の共有化を図るべき。
- ・ 把握するための調査と並行して、手遅れになる前に対策を行っていく必要がある。
- ・ まずは血が出ているところを止め、その上で昔のような状態に戻してやる必要がある。
- ・ 湿原の最近の急激な変化は、社会情勢の劇的な変化による影響が大きい。
- ・ 自分たちのライフスタイルを見直す必要がある。
- ・ 昔からのことを知っている地元の方の意見をよく聞いた方がいい。
- ・ 開催にあたっては、湿原の変化などをよく知っている地元の方に参加してもらうために、時間と場所に配慮すべき。

といったことが話し合われた。

以上は、会に出席した事務局員のメモに基づいて作成したものである。